|  |  |
| --- | --- |
| はあもにいフェスタ201８　振り返り会　議事録 | |
| 開催日時 | 平成30年12月1日（土）　13：30～15：30 |
| 会場 | はあもにい2階学習室 |
| 参加者 | 団体名、館長、事務局（伊井、杉、河野、田中、緒方、大久保）　進行：大久保 |
| 次第 | １．館長挨拶  ２．講演会、映画、クイズラリー、つながるステージの報告  ３．広報実績  4．皆様からの振り返りについて  5．各団体より一言  6．次年度講師案について  7．その他  来年度はあもにいフェスタ日程…平成31年11月9日（土）10日（日） |
| 内容 | **１．館長挨拶**  「今日ははあもにいフェスタ2018振り返り会にご参加いただきましてありがとうございます。5月の第1回の全体会から約半年間かけて準備をしてまいりました。この期間、皆様お忙しい中に大変なご協力をいただきましてありがとうございました。そして迎えた当日、11月10日、11日と大変多くの方々にお越しいただきました。大きな事故、ケガ、トラブルもなく終えられたことは、皆様のご協力の賜物だと思っております。心からお礼申し上げます。  私自身はいくつかの団体さんと同様に今回が初めてのフェスタ参加でした。そのためなるべく多くの会場、ブースを巡りたいなと思い、1日目はなんとか回れましたが、2日目は記念講演会がございまして、いろいろと慌ただしく、そうたくさんうかがうことができずに大変残念でしたし、申し訳なく思っております。ただ、うかがいました各会場では非常に良い企画が展開されていて、刺激を受けました。みなさんの日ごろの活動が見えるようでした。私たちはあもにいももっとがんばらなくちゃいけないなと励まされた思いでした。ありがとうございました。今日は、皆様からフェスタに向けての途中経過、そして当日の企画・運営、すべてに渡っての反省・意見をいただき、それを今後にいかすための話し合いができればいいなと思っていますので、どうぞ忌憚のない意見をお寄せください。よろしくお願いいたします」  **２．講演会、映画、クイズラリー、つながるステージの報告**  　別紙「はあもにいフェスタ2018報告書」に沿った報告を行った。  **３．広報について**  別紙「広報実績」に沿った報告を行った。  **4．皆様からの振り返りについて**  別紙「はあもにいフェスタ2018 振り返りシートまとめ」に沿った報告を行った。  **5．各団体より一言**  ●NPO法人ウィメンズ・カウンセリングルーム熊本：振り返りシートに私たちの意見も入っていた。自分自身は初めての参加。もともと医療の現場で働いていた。今回、このような機会を与えていただいたので次は会議等から参加して、ご協力させていただきたいと思う。これからもよろしくお願いいたします。  ●男女共生社会を実現させるくまもとネットワーク：今年度は自分が全体会議に出席できない日があったので、そういった時は必ず会の方から出席して、会全体で運営の様子などをつないでいくようにしていた。当日、参加団体が増えてきているので、なかなか新しい顔合わせができていないという戸惑いもあったが、今日の反省のまとめを見てみると、参加団体が増えたことで新しい視点での課題の指摘があったと思う。今後、フェスタを続けていくにあたって、課題をみんなで一つでも多く解決して前に向かっていけたらいいなと思った。最初に男女共同参画の研修があったが、今後もぜひ続けてほしい。私たちの位置づけを再認識することができるので、とてもいいと思う。自分たちも久々にフェスタで寸劇をしたが、参加者も多くて、男性の参加もあり、日頃表に出せない声が出せる場となり、とても良かった。  ●ほっとステージBINGO：もう（参加は）ベテランの部類になると思う。2階から見た時に、ごちゃごちゃごった返している感じがしなくて、とても整然としていた感じがした。LGBTの方の展示で性的少数者の方の本音を見て、自分が気づかないでいたが常日頃大変な思いをしている人たちがいるのだということがわかった。いろんな人たちがいる多様性を感じ、そういった人たちが生きやすい社会を作っていかなくちゃいけないんだと思った。また、市からいくつか当日参加があったが、全体会議にも参加してほしいという意見が（振り返りシートに）あったが、いきなり当日、男女共同参画課に「何か思いはありませんか」と聞かれてアンケートを書いたが、中身が（基本計画だと）すぐにはわからなかった。会館の基本は大事だと思うので、普段の活動の発表会というよりもっと原点に帰って、市の方も全体会議にも参加してもらって、男性だから女性だからということでなく多様性を理解できるようなフェスタにしていけたらと思った。  ●学習室らくだ：漢点字と子ども店長のショップを行った。15年くらい参加している。振り返りシートで、子どもがブースの外にも出て販売していることに対して意見があったが、マイナスの意見があったのは今までで初めて。今年は2人、空手をやる声の大きい元気な子がいたので、私の方でも少しうるさいよと言ったくらい元気が良かった。賛否両論あるかとは思ったが、子どもの元気のいい声がにぎやかさを増すかなと思い、あまり抑えることはしなかった。ただ、意見もあるので、同じ子たちが参加するかは分からないが、ブースの外に出てまで子どもが販売するのがどうなのか、来年度は基本的なことを調整して改めて検討したい。  ●フラヴェリナ・オ・ナー・プア・マーリエ：今回は、ワークショップでは、小学生ダンサーがレッスンをしたので、幼児の方たちが親しみを持てたようで大変好評だった。つながるステージはお客さんに楽しんでいただきたいと、歌謡曲でのフラダンスを行った。口ずさんでくださる方たちや立ち止まって見て下さる方などもいて、楽しく行うことができた。  ●熊本友の会：例年通り、しっかりとした準備とスムーズなスタートで、順調に始められた。クイズラリーもしっかり準備されていて楽しめた。講習会には友人を誘ったがとても喜んでもらえた。エントランスにいるときは、ステージの催しを係の人たちも楽しんでいた。バザーの場所が前回と変わったが、全体が見ることができて良かった。  ●熊本県つばさの会：私たちは男女共同参画を推進する県のボランティア団体。熊本支部としてフェスタはずっと出ていると思うが、私個人としては初めての参加だった。フェスタの主旨とか内容とかできるだけ理解したいと思い、いろいろ一緒にやってきた。セミナーは予約制だったが、がんばって広報した結果、定員オーバーで実施できた。講師も素晴らしい方を呼ぶことができ、独自のアンケートでは大変満足したという感想を多くいただいた。頑張った甲斐があったなと思った。スタッフの方にもたくさん協力いただいて感謝している。チラシについては、感想にもあったが、参加団体が多いので、それを全部掲載しないといけないので文字が小さくなる。年配の方もいるのでちょっと見づらいという声があった。自分たちの催事は広報での参加はゼロで、ほとんどが口コミだった。もっと美味しいもの、きれいなもの、華やかなものがあると、来てみたいなと思うと思う。全部の団体の催事を載せなくても、参加団体名だけ載せて、写真を多く載せるとかインパクトのあるものをチラシの限られたスペースを有効に使い、目立たせてはどうか。たくさんのお客様を呼んで、あとは自助努力でPRなどで自分たちのブースに呼び込む努力をしてはどうか。知り合いに呼びかけたが、はあもにいは場所はわかるけど…という意識しかなく、せっかく立派な施設があるのだからもっとたくさんの人に来ていただくために工夫してみてもいいと思う。今回色んな経験をして、とても勉強させてもらった。できるかぎりボランティアも続けていきたいと思う。  ●背骨コンディショニング協会：今回初めての参加。何にもわからなかったのでなるべく全体会議に参加するように努めた。当日は午前も午後も自分の催事でいっぱいいっぱいで、他の団体を見る余裕がなかった。全体を見ることができなかったのが反省点。自分のところをもっと余裕をもって企画すればよかった。参加させていただいたことで、自分たちの活動以外のところに知ってもらうことができ、自分たちのところにはリーフレットを見た、それで知ったという新規の方が多かった。あとからリーフレットの連絡先を見て問い合わせをいただいたり、他の教室に来てくださった方もいて、参加できたことで縁ができた方たちが何人もいる。参加してよかったと思う。  ●くまもと転入ママの会：今回は多目的ホールでのクイズラリーの中の「忍者修行」を担当した。途中、Cグループができてからは、ミーティングをしたり作業をしたりと他の参加団体の方たちにすごくご協力いただいた。自分たちが思ってたよりは人数は少なかったが、参加した皆さんには非常に喜んでいただいたと思う。私たちも忙しすぎて他の団体のところには行けなかった。来年はみなさんの出しているチラシを一枚ずつ手元に持って、きちんと確認したい。参加団体さんと交流も持てたらいいなと思っていたので、この後の交流会が楽しみ。  ●くまもとCSの会：はあもにいスタッフやボランティアの人たちに当日、搬入から色んなシーンで助けてもらった。非常に助かった。今年が2回目の参加。去年同様に化学物質過敏症の患者団体として啓発のブースを出した。去年を上回る271名の参加があった。色んな方たちに知っていただくいい機会になったと思う。縁があってTVや新聞でとりあげてもらって、メディアの力はすごいと思った。クイズラリーを目当てにしている方たちは問題を見つけたら部屋の前をすぐ通り過ぎてしまうので、声かけして呼びかけることが大切なのではと去年に引き続き感じた。前に意見が出ていたが、入口をきらびやかにするのは入りやすくなり、効果があると思う。  ●法輪功 熊本：2回目の参加。はあもにい事務局の方や参加団体に色々お尋ねすることもあり、お世話になりました。展示ブースでの参加だったが、来場者の方たちに自分たちの活動に興味を持ってもらい、はあもにいフェスタ終了後、その後の活動に参加してくださる方もいた。とても嬉しく思っている。くまてんさんの企画にご協力させていただきながら、他の団体さん達との交流も持て、団体さんのこと、その活動、どんな思いで活動されているのかを知ることができてとても参考になった。1日目しか参加できなかったが、来場者の方たちがと楽しんで参加しているのを見て本当に良かったなと思った。市民活動団体と行政とが協働して作るフェスタは、有意義だったと感じた。男女共同参画を目指したまちづくりにつながるようなフェスタを来年も行うことができたらと思う。  ●長森：今年は、なんといっても「忍者修行」のこまやかな準備が素晴らしかった。くまてんの東山さんのリーダーシップもとても良かったし、スタッフも優しくて良かった。クイズラリーは家族で楽しんでいる姿を見ることができて、400名の参加を越えて良かったと思った。  **6．次年度講師案について**  （事務局）第2回の全体会で、講師の調整が半年前では難しいということで、一度相談をさせていただいた。1年前なら調整できるのではないかと思い、今回、皆さんに来年度のことではあるが、講師案についてお尋ねしている。今日来ていない方からいくつか提案が出ている。今、何かご意見がありますか。  （団体意見）稲垣さん第2弾を考えても良いのではないか。理由として、全部お話を聞くには時間が足りなかったし、質問コーナーも意見がたくさんあった。みんな興味を持って聞けていた話だった。当日は入れない方もいたし、また呼んでほしい。  （事務局）本来はテーマが決まって、テーマに準じた人を決めるのが順当で、今まではそうしてきたが、今年は呼びたい方がことごとく時間的に半年前ではスケジュールが間に合わなかったという事情もあり、今回、この時期に相談させていただいた。前回色んな講師にアタックしたときに、これは目がないなという方もいれば、非常に熊本に関心を持っていただいたと感じた方もいた。これまでの素材を持っているので、たとえばこういう人にアプローチしていきますと途中経過を報告しながら、事務局の方で進めていきたいと思う。今日いただいた意見も含め、随時検討して、報告していくという形をとっていきたい。  **7．その他**  **来年度フェスタ日程　2019年11月9日（土）10日（日）**  （事務局）振り返りシートでも日程に関しても色々な意見をいただいたが、はあもにいの貸室は1年前から一般開放される事情もあり、来年度はこの日程で決定している。11月はどの週をとっても何かしら行事がある。直前にならないと分からないことも多いが、今回はこの日程であるということを了承いただき、次年度も参加をご検討いただきますようお願いいたします。 |